

花きの県別生産出荷概況(3月見通し)

品目	県名	作付面積ha (前年比)	主な品種	3月出荷見込み 千本		主産地	3月のピーク		
				全出荷量	京浜地域		上	中	下
アルストロメリア	山形県	9.6 (95%)	レベッカ、オルガ、レモン、アバランジェ、 プッチーニ、エベレスト他	446 (92%)	161 (99%)	JA山形おきたま JA鶴岡 JAそでうら	30	30	40
	茨城県	8 (100%)	レベッカ、レモン、プッチーニ、オルガ、オ レンジクイーン 他	250	200	笠間市、土浦市、石岡 市、筑西市 他	25	40	35
	長野県	-	セナ・アモール・マンゴー・レベッカ・プリマドンナ・フッ チーニ・ドリームランド・ツアリナ・サクラメント・ロッキーニ ・バージニア・オルガ・フィネッセ・アルラー・ダイナスティ ・オレンジクイーン・ティエスト・フエゴ他	2,000 (100%)	700 (100%)	佐久、伊那、諏訪、松本	30	35	35
さくら	山形県	195.9 (95%)	啓翁桜	213 (85%)	138 (85%)	県内全域	40	35	25
菊	栃木県	39 (99%)	神馬、精興光玉 他	830 (110%)	200 (60%)	大田原、小山、真岡、塩 谷 他	20	40	40
	愛知県	-	神馬、精興の誠、精興光源、精興光玉 他	24,000 (97%)	13,680	愛知みなみ、ひまわり、 西三河、愛知西、あいち 中央、あいち知多	36	39	25
	福岡県	14 (97%)	神馬、雪姫、精興の秋、美吉野 他	6,057	1,500	八女電照菊	43	38	19
	熊本県	25.2 (98%)	神馬、精興の秋、精興の光玉 他	630 (98%)	446 (120%)	鹿本、球磨	18	64	18
	大分県	1.2	神馬、浜の光、精興の光玉 他	600	-	蒲江	-	-	-
	沖縄県	13 (101%)	精興の秋、太陽の響、伊吹金峰、精興 の誠 他	6,128 (101%)	1,250 (101%)	伊江、今帰仁、本部、中 城	35	45	20
	茨城県	11 (98%)	つくばエクスプレス、ローテローゼ、サム ライ、アバランチェ 他	550	450	笠間市、土浦市、石岡 市、筑西市 他	20	35	45
	栃木県	12 (94%)	ローテローゼ、レッドスター、ノブレス 他	400 (95%)	350 (95%)	宇都宮市、小山市 他	30	30	40
	群馬県	15.3 (90%)	アヴァランチェ、サムライ 他	570 (95%)	506 (95%)	前橋市、利根沼田、甘楽 富岡	30	30	40

品目	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
アルストロメリア	<p>低温と低日照の影響により、開花が進みにくい状況である。今後、気温の上昇や日射量の増加にともない生育・開花が進み、出荷量は増加するが、数量は昨年よりもやや少ない見込み。切り花品質はやや軟弱傾向である。</p>	<p><b>現状</b> 1月からの低温・低日照のため例年より出荷本数が少なくなっている。他の花も少ないことから品薄となりやや高めの相場展開となった。</p>
	<p>・低温の影響により、一部圃場でやや生育遅れが見られる。 ・品質は良好で、病害虫は特に見られない。</p>	<p><b>見通し</b> 大田花き 例年3月に入って数量が増加してくるが、低温が続く予想のため大きな増加はない見込み。彼岸の需要もあり、高値での取引となることが予想される。800,000本 @85</p> <p>FAJ 彼岸に向け出荷量増量予定。引き合いも強まり安定した取引が続く見込み。業務・ブライダル需要の品種の引き合いは有る。特に大きな需要も少ない時期で概ね例年並みの流れ。@85</p>
	<p>低温、日照不足により現状は例年をやや下回る出荷量であるが今後気温の上昇に伴い数量は回復する見込み</p>	<p>東京フラワーポート イベント対応での引き合いも強く動き堅調 東日本板橋花き 愛知、青森中心の入荷、需要無く引き合い弱い。 世田谷花き 各物日に向け、需要・入荷ともに上昇。</p>
さくら	<p>大雪のため、産地によっては切り枝収穫が難しい状況であることから、3月の出荷量はやや少なくなる見込み。切り枝品質は概ね良好である。</p>	
菊	<p>冷え込みが厳しいが、出荷量は例年並み。春彼岸も計画的に出荷される見込み。</p>	<p><b>現状</b> 現在まで入荷量は、昨年と比較して14%減の状況。昨年と比較して上位等級の発生比率も低くなっている。特に白菊は10日以降、全国的な品薄で強い引き合いがあり高単価での取り引きとなっている。下旬についても大きな増量は見込めず品薄単価高で推移。色菊については、小売り需要中心の取り引きの為白菊程の引き合いは無いが、安定した取り引き。</p>
	<p>・2月中旬は予想より少なめで推移した。生育不揃いでたらだら出荷が原因。 ・3月は前作11月が前進傾向であったため作付も少し前進化(3.11がらみも含めて)。しかしながら、厳しい寒さと日照不足により作付面積より目減りした出荷となる見込み。 ・年間予定、彼岸特注中心の販売となる見込み。 ・JA愛知みなみは2月末に直前出荷情報を取引市場に送付する。 ・虫は少ないが、白さび病が一部で散見される。</p>	<p><b>見通し</b> 大田花き 主要各産地の3月出荷向け作付け量は、昨年対比で90%台。上旬については、引き続き品薄の上位等級中心の引き合いがあり、中旬以降は彼岸需要向けの低位等級の引き合いが出てくる見込み。上旬に関しては例年よりも強めの取り引きになることを見込む。</p>
	<p>作付面積は平年並み。生育は特に問題なく平年並みの出荷を見込んでいる。昨年に比べ色物比率が高くなっている(今年度白比率80% 昨年88%)</p>	<p>FAJ 彼岸需要期に入り、引き合いさらに活発になる予想。 第一花き 特に大きな需要も無い時期、入荷バランスによるが業務需要中心の流れで例年並みの流れ。@78</p>
	<p>3月上旬より出荷増の予定であるが、低温及び日照不足により若干の遅れあり。一部サビ病が見られる。</p>	<p>世田谷花き 天候不順により、入荷量増減しそう。物日需要有り、単価は強いだろう。 東京フラワーポート 彼岸需要での引き合い多く活発な動きが見込まれる。</p>
	<p>日照不足、低温で遅れ気味。病害虫の被害は特に認められず生育は良好。</p>	<p>東日本板橋花き 1月同様で業務中心の動き@2L90から100</p>
	<p>昨年のような冷え込みの影響もなく、蕾も順調に発達しているため、概ね計画どおりの出荷が見込まれる。彼岸期の色バランスは黄:白:赤=87%:9%:4%となり、1黄色が中心の作付けとなっている。</p>	
	<p>・低温の影響により、若干出荷量が減少する見込み。 ・一部圃場で、灰色かび病が散見される。</p>	<p><b>現状</b> 冷え込みの影響で国産は引き続き少ない状況。2月に入りブライダルフェアや婚礼需要が動きだしたことに加え、フラワーバレンタイン用の赤系STDの引き合いが強まった為、相場は回復する。</p>
	<p>冷え込みが厳しく、採花サイクルが長くなり、出荷量は減る見込み。炭酸ガスを施用する生産者が増え、導入農家は採花本数が増加している。</p>	<p><b>見通し</b> 大田花き 気温上昇とともに入荷量は徐々に増加していくものの、加温が足りていない産地に関してはやや遅れる見込み。卒業式、離退任などの需要もでてくる為、引き合いは強くなる見込み。 FAJ 需要期に入り、引き合い強まる。各産地出荷量、増加する見込み。</p>
	<p>生育は順調で、病害等は少ないが、引き続き低温の影響で加温を控えている農家では、サイクルが伸びているため今後の気温の推移にもよるが、出荷量は前年に比べ減少を見込む。なお、積極的に加温を行っている農家は、重油の使用量が増加し経営を圧迫しているが、出荷量は前年並を見込む。</p>	<p>第一花き 特に大きな需要も無い時期、入荷バランスによるがブライダル・業需要中心の流れで例年並みの流れ。SP@110 SD@100 世田谷花き 入荷量も徐々に増え、卒業式需要に期待。相場は強保合の見込み。中下旬がピークの予想。</p>

バラ	千葉県	4.4	サムライ、ザ・テレサ、タイタニック、ローテローゼ、ノブレス 他	107	97	鴨川市、神崎町	30	35	35
	山梨県	4.1 (91%)	サムライ、ローテローゼ 他	200 (90%)	180 (90%)	笛吹市	35	35	30
	愛知県	-	サムライ08、レッドスター、アヴァラン チェ、フレアー、ベイブ、シンディ 他	2,900 (98%)	1,160	愛知みなみ、ひまわり、 西三河、豊橋	30	35	35
	佐賀県	6.2 (100%)	ローテローゼ、シヨコラ、マカレナ、リーク 他	180	100	佐賀市、佐賀みどり	30	35	35
	大分県	0.2	サムライ、Mローズ、Jローズ 他	200 (100%)	70 (100%)	玖珠、九重	20	30	50

バラ	生育は順調で品質も良好。出荷量は、無加温ハウス面積の増加のため前年より減少。	東京フラワーポート 卒業式等での引き合いが中旬以降から多くなる模様 東日本板橋花き これといった需要はなく、入荷量も寒さ、生産コストの影響で少ない。
	低温のため花上がりが遅く出荷量は少ない。	
	・1月、2月の出荷量は谷であった。その反動もあり3月の数量は増加する見込み。 ・しかしながら、気温の低下と日照不足を考えると昨年を上回る量は出ないと考える。	
	低温・曇天が続いており、中旬以降には各品種安定出荷が見込める模様。	
	京浜地区向け出荷は高標高地(玖珠・九重)中心。 低温の影響で2月までは出荷が少なかったが徐々に回復している。	